

PRESS RELEASE

住まいと暮らしの
創造企業グループ

 長谷工グループ
HASEKO

2024年12月23日

長谷工コーポレーション・不二建設

カーボンニュートラルに向けた建設現場の新たな取り組み ～コンクリート打設時のテストピースを小型化し、CO₂排出量を削減～

㈱長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、代表取締役社長：池上 一夫、以下「長谷工」という）ならびにグループの不二建設㈱（本社：東京都港区、代表取締役社長：船橋 慶一郎）は、コンクリート打設時に強度確認を行うテストピースのサイズを従来のφ100×200mmからφ80×160mmに小型化し、今後、「(仮称)柏市豊四季台計画新築工事」建設現場を皮切りに首都圏の建設現場で採用推進してまいります。

テストピースの小型化によって、コンクリートの使用量が減少し、廃棄物量の削減およびCO₂排出量の削減が可能となります。また、テストピースの重量が半減するため、作業員の負荷軽減にも寄与します。尚、構造体強度保証用テストピース(※1)は従来のφ100×200mmのサイズを使用いたします。

今回の取り組みは、長谷工と㈱日東コンクリート技術事務所（本社：埼玉県三郷市、代表取締役：高橋 光広）が共同で第三者機関である一財)日本建築総合試験所による「建築技術性能証明」を取得しており、長谷工グループが2050年カーボンニュートラルを目指した取り組みとして制定した長谷工グループ気候変動対応方針「HASEKO ZERO - Emission」(※2)に則った対応となります。

(※1) 建築物が必要なコンクリート強度を保証するためのテストピース

(※2) (<https://www.haseko.co.jp/hc/csr/environment/climate.html>)

気候変動が世界的な課題となる中、長谷工グループは「持続可能な開発目標 (SDGs)」や「パリ協定」などの国際的な枠組みに基づき、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めています。企業理念である「都市と人間の最適な生活環境を創造し、社会に貢献する。」を実現するため、事業を通じた課題解決と企業価値の向上を目指してまいります。



【φ100×200mmテストピース】【φ80×160mmテストピース】



【圧縮強度試験状況】

【テストピースの従前比較】

	直径φ100×高さ200mmテストピース	直径φ80×高さ160mmテストピース
コンクリート容積	1.6 ^{リットル}	0.8 ^{リットル}
コンクリート重量	3.5kg	1.8kg

	直径φ100のみ	直径φ80・φ100併用
年間テストピース廃棄量 (68,000本) ※2	約110m ³	約70m ³
CO2排出量 ※3	37.2t-co2	23.7t-co2

※2 長谷エコーポレーション東京地区での2023年度のコンクリート打設量から試算

※3 製造・廃棄から発生するCO2排出量

■会社概要

会社名	株式会社 日東コンクリート技術事務所
本社住所	埼玉県三郷市谷口221番地
東北試験所	宮城県仙台市若林区六丁の目北町6番3号
代表者	高橋光広
事業内容	現場試験・材料試験・非破壊検査・調査
従業員数	141名(2022年4月1日現在)
URL	https://www.nittou-con.co.jp/index.html